

10. 星座観察

1. ねらい

四季おりおりの星座などを観察し、星座に対する関心を高めます。
星空から、宇宙の広大さなどを実感するとともに、豊かな自然を感じる心を育てます。

2. 時期・時間

- ・年間を通じて活動可能（ただし、秋～春の寒い時期は防寒対策を十分にすること）
- ・1.5時間～2時間

3. 準備

自然の家で貸し出しできる物	利用者が準備する物
星座早見盤 ヘッドランプ（単3電池2コ持参） 双眼鏡 フィールドスコープ 天体望遠鏡(80ミリ13台) 指導員要請の際の注意事項は下記をご覧ください。 ビデオプロジェクター ブルーシート（数に限りがあります。事前にご相談ください。）	時計 鉛筆 メモ用紙 懐中電灯 シート（寝転がり星を見る場合） ヘッドランプ用単3形電池2コ

*外部指導員要請の場合：6,600円

（指導員1名にて2時間指導に当たります。雨天の場合も室内にて「星の話」を実施しますので、キャンセルはできません。）

4. 留意点

- (1) 天体望遠鏡を使用する時は当所の指導員の他に、引率指導者が最低1人つくようにして直接指導を行ってください。
- (2) 引率指導者は事前に「パソコンによる天文シミュレーション」等の映像を見ておくと星座観察の指導がしやすいでしょう。
- (3) 夏季でも夜間は冷えるので、長時間の観察には防寒着を用意しましょう。
- (4) 曽爾高原は天候の変化が激しいため、晴天時以外のプログラムを綿密に計画しておくことが大切です。
- (5) 天候等の条件がよければ、お亀池周辺で各自がシートを広げて寝転がり、しばらく満天の星空を眺めれば、とても良い経験ができるでしょう。その際は静かにしてまわりの自然も感じとりましょう。
- (6) 目が慣れれば夜道でも歩けるので、懐中電灯は必ず各自が持つ必要はありません。むしろ、余計な光は観察の妨げになるので、リーダーだけが所持するか、赤いセロハンを電灯に着けるかして、観察が円滑に運ぶようにご指導・ご準備ください。

5. 星座観察の種類について

- ・手軽に楽しめるフィールドスコープは「月」や「惑星」などを見ることができます。
- ・80mm天体望遠鏡は夜間使用貸出前の明るいうちに、光軸調整など事前の操作が必要です。
- ・指導員の要請があった場合、雨天時は研修室を使って、指導員によるパソコン等での星座解説など、別プログラムに変更しての実施になります。